



Cisco DPA による連動

Cisco DPA 7630 および 7610 ボイスメール ゲートウェイ (DPA 7630/7610) を使用すると、Cisco Unified Communications Manager システムを Octel ボイス メッセージ システムと連動できます。また、このボイス メッセージ システムを Definity または Meridian 1 PBX システムに接続することも可能です。この連動により、既存のサードパーティ製テレフォニー システムを Cisco IP テレフォニー システムと併用することができます。

たとえば、Octel ボイス メッセージ用のメッセージ受信のインジケータ (MWI) などの機能を、Cisco Unified IP Phone (Cisco Unified Communications Manager に接続) や従来型のテレフォニー 電話 (Definity または Meridian 1 PBX システムに接続) 上で適切に設定できます。

DPA 7630/7610 を使用して、次のシステムを連動できます。

- Cisco Communications Manager 3.1(1) 以上
- Octel 200 および 300 ボイス メッセージ システム (APIC/NPIC 連動を使用)
- Octel 250 および 350 ボイス メッセージ システム (FLT-A/FLT-N 連動を使用)
- Definity G3 PBX システム (DPA 7630 のみ)
- Meridian 1 PBX システム (DPA 7610 のみ)

次の項では、DPA 7630/7610 の概要を示し、従来型ネットワークと IP テレフォニー ネットワーク内で行われる他のコンポーネントとの対話について説明します。

- [「DPA 7630/7610 の概要」 \(P.32-1\)](#)
- [「DPA 7630/7610 の機能」 \(P.32-2\)](#)

DPA 7630/7610 の概要

DPA 7630/7610 は、Cisco Unified Communications Manager と Octel システム (PBX システムに接続可能) の間のゲートウェイとして動作し、次のタスクを実行します。

- Cisco Unified Communications Manager からのコール タイプを判別し、ディスプレイ、ライト、およびリングの各メッセージを Octel システムに送信する。
- 転送やメッセージの受信インジケータ (MWI) の設定などが Octel システム内で試行されていることを判別し、それに対応するメッセージを Cisco Unified Communications Manager に送信する。
- DTMF (Dual Tone MultiFrequency) トーンを Skinny Client Control Protocol メッセージに変換する。
- Companding-law のトランスコーディングおよび音声圧縮を実行する。
- ボイス メッセージの Real-Time Transport Protocol (RTP) のカプセル化を実行する。

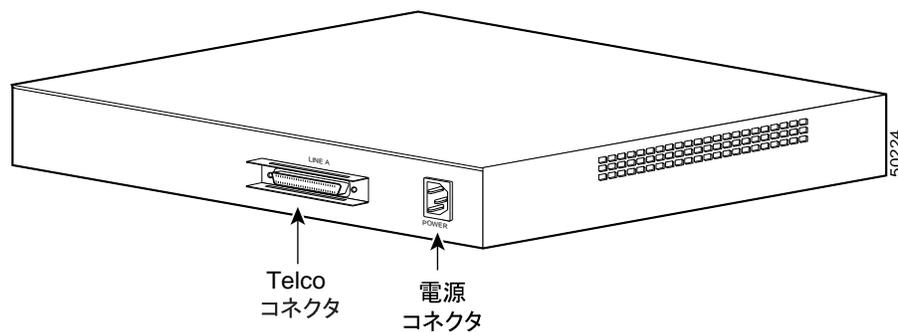
DPA 7630/7610 の機能

Cisco DPA 7630/7610 を使用して、Cisco Unified Communications Manager と Definity PBX システムまたは Meridian 1 PBX システムのいずれかに、既存の Octel ボイス メッセージ システムを連動させることができます。Definity PBX の場合は DPA 7630 を使用し、Meridian 1 システムの場合は DPA 7610 を使用します。

また DPA 7630/7610 には、デジタル電話や PBX システムをエミュレートする機能もあります。このエミュレート機能により、Cisco Unified Communications Manager、Octel、Definity、および Meridian 1 の各システム上でデジタル電話や PBX システムのように機能できます。

図 32-1 に、Cisco DPA を示します。

図 32-1 Cisco DPA



DPA 7630/7610 が必要な場合

Definity G3 PBX または Meridian 1 PBX から Cisco Unified Communications Manager にテレフォニー システムを移行する場合、Cisco Unified Communications Manager への完全なカットオーバーを行うのか、徐々に移行を行うのかを決定する必要があります。Cisco Unified Communications Manager や Cisco ボイス メッセージ ソリューションへの完全なカットオーバーを行う場合、DPA 7630/7610 は必要ありません。一方、システムを徐々に移行する場合、Cisco Unified Communications Manager システムに新しい電話機をインストールする間、Definity または Meridian 1 PBX 上の一部の電話機を維持する必要があります。既存の Octel ボイス メッセージ システムを Cisco Unified Communications Manager システムと併用する場合があります。このような場合は、DPA 7630/7610 が Cisco Unified Communications Manager への移行時に必要になります。

SMDI 使用の条件

Octel のように一度に 1 つの PBX とだけ連動できるように設計されたボイス メッセージ システムでは、移行の際に問題が生じます。この問題の解決には、複数のクライアントへのボイス メッセージ サービスの連動を可能にするよう設計されている Simplified Message Desk Interface (SMDI) が通常使用されます。

SMDI を使用するには、ボイス メッセージ システムが次の条件を満たしている必要があります。

- 十分なデータベース容量があり、2 つの PBX システムを同時にサポートし、各メールボックスを正しい PBX に関連付けて正しいリンクに MWI 情報を送信できる。
- PBX への既存の物理リンクを維持しながら、IP ネットワークをボイス メッセージ システムに物理的に接続できる。
- アナログ連動をサポートしている。SMDI は基本的にアナログ技術です。

また、SMDI を使用するには、既存のテレフォニー ネットワークの再構成が必要です。

SMDI を使用できない場合の対処

特に Octel システム上でデジタル インターフェイスを使用している場合、SMDI では問題が解決できない場合があることに注意してください。デジタル回線カードを使用する Octel システムは、デジタル電話をエミュレートし、PBX 上ではポート単位連動または PBX integration card (PIC) と呼ばれるデジタル内線電話として扱われます。PIC システム上では、音声とデータ (MWI の設定用) のストリームは同じバスを使用します。MWI の設定と削除は、専用ポート上の機能アクセス コードによって行われます。これらの PIC ポートは専用インターフェイスを使用するため、標準インターフェイスを使用して PIC ポートを Cisco Unified Communications Manager システムに接続することはできません。

ただし、DPA 7630/7610 を使用すると、これらのインターフェイスを変換して、Cisco Unified Communications Manager、Octel、および Definity または Meridian 1 システム間で通信が可能になります。ネットワークのニーズに応じて、数種類の連動方式から選択できます。

参考情報

関連項目

- 「DPA 7630/7610 の概要」(P.32-1)
- 「DPA 7630/7610 の機能」(P.32-2)
- 「SMDI ボイスメールの連動」(P.30-1)

参考資料

- 『Cisco DPA 7630/7610 Voice Mail Gateways Administration Guide』

